

製品名: C反応性タンパク質 (15D4) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe07703**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IF-P
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:2000,IF-P 1:200-1:2000
分子量	25kDa

抗原情報

遺伝子名	CRP
別名	CRP; Pentraxin 1; PTX1; C reactive protein pentraxin related;
遺伝子 ID	1401.0
SwissProt ID	P02741
免疫原	ヒト C 反応性タンパク質の組み換えタンパク質

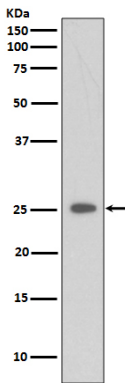
背景

血清CRP値は、多くのヒト疾患の検出またはモニタリングのために日常的に測定されており、C反応性タンパク質の軽度の上昇は、冠動脈疾患患者における心血管イベントの予測因子となります。CRPは宿主防御を促進し、古典的なCカスケードの効率的な活性化因子であり、オプソニン作用を示すことが示されています。オプソニン作用とC活性化作用は、急性感染症の免疫前段階において保護を提供する非特異的な宿主防御活性を担っています。宿主防御に関連するいくつかの機能を発揮し、カルシウム依存性ホスホリルコリンへの結合を介して、凝集、細菌莢膜腫脹、貪食、補体固定を促進します。DNAやヒストンと相互作用し、損傷した循環細胞から放出された核物質を除去する可能性があります。

研究分野

免疫学

画像データ



エトポシド処理した 293 個の全細胞溶解物における CRP 発現のウェスタン プロット分析。